９．４から８までに掲げる事業及び措置の総合的かつ一体的推進に関する事項

［１］市町村の推進体制の整備等

（１）御殿場市における推進体制について

①中心市街地活性化推進に係る担当の設置

本市では、平成 27 年 4 月 1 日に、中心市街地活性化を担当し関係部署を総括する組織として、都市建設部都市整備課に新拠点整備スタッフを 2 名配置した。また、平成 29 年 4 月 1 日には 4 名に増員している。

②庁内の政策決定

中心市街地活性化の総合的かつ一体的な推進を図るため、庁内の政策決定機関である庁議において方針決定するとともに、検討・推進組織として調整会議及び地域開発庁内検討委員会において、基本計画案の検討及び連絡・調整を図った。

表．庁議の開催状況

開催日	議題等
平成 28 年 6 月 27 日	中心市街地活性化基本計画（素案）について
令和 2 年 2 月 6 日	中心市街地活性化基本計画（案）について

表．庁議の構成（令和元年度）

市長	副市長（2 名）	教育長	会計管理者
企画部長	総務部長	市民部長	健康福祉部長
環境部長	産業スポーツ部長	都市建設部長	危機管理監
議会事務局長	教育部長	広域行政組合事務局長	消防長

表．調整会議の開催状況

開催日	議題等
平成 28 年 6 月 6 日	中心市街地活性化基本計画（素案）について
令和 2 年 1 月 21 日	中心市街地活性化基本計画（案）について

表．調整会議の構成（令和元年度）

企画課長	未来プロジェクト課長	総務課長	財政課長
くらしの安全課長	社会福祉課長	環境課長	農政課長
都市計画課長	教育総務課長		

表．地域開発庁内検討委員会の開催状況

開催日	議題等
平成 27 年 6 月 25 日	中心市街地活性化基本計画の策定について
平成 28 年 3 月 2 日	中心市街地活性化基本計画の進捗状況報告について 駅前図書館機能構想について
平成 28 年 7 月 6 日	駅前図書館機能について
令和元年 12 月 18 日	中心市街地活性化基本計画（案）について

表．地域開発庁内検討委員会の構成（令和元年度）

都市計画課長	企画課長	未来プロジェクト課長	財政課長
農政課長	農林整備課長	商工振興課長	観光交流課長
都市整備課長	道路河川課長		

（２）市議会における審議の経過

平成 27 年 3 月議会において、平成 27 年度予算の提案に当たっての施政運営方針のなかで、中心市街地活性化基本計画の策定に取り組む旨を表明するとともに、議会答弁においても中心市街地活性化を推進する旨を明らかにした。

表．市議会における審議の経過

会議の種類	議題等
平成 27 年 3 月議会	中心市街地活性化基本計画の策定について
平成 28 年 6 月議会	中心市街地活性化基本計画の概要について
平成 28 年 7 月 経済環境委員会協議会	中心市街地活性化基本計画（案）－概要版－について
平成 28 年 7 月 全員協議会	中心市街地活性化基本計画（案）－概要版－について
平成 28 年 9 月議会	中心市街地活性化基本計画（案）－概要版－について
平成 29 年 5 月 経済環境委員会協議会	中心市街地活性化基本計画の状況報告について
平成 29 年 9 月議会	中心市街地活性化事業について
平成 30 年 3 月 予算決算委員会経済環境分科会	御殿場駅周辺活性化事業について
平成 31 年 3 月議会	市長施政方針について（御殿場駅周辺活性化事業について）
平成 31 年 3 月 予算決算委員会経済環境分科会	御殿場駅周辺活性化事業について
令和元年 9 月議会	御殿場駅前活性化の諸課題等について
令和 2 年 3 月 経済環境委員会協議会	中心市街地活性化基本計画について
令和 2 年 3 月議会	中心市街地活性化基本計画について

（３）中心市街地の活性化に向けた市民・事業者等の検討の状況

①駅周辺のまちづくりに関する検討会等の開催

本市では、平成 19 年 7 月に、地元組織である**「御殿場駅東地区まちづくり検討会」**が発足され、駅東地区のまちづくりに関するアンケート調査を行うとともに、まちづくりの課題や取組について検討を行い、平成 21 年 3 月に報告書が市に提出された。

その後、平成 22 年 5 月に「御殿場駅東地区まちづくり検討会」を前身とした**「御殿場駅東地区まちづくり懇話会」**が設立され、御殿場駅東側の区域一帯のまちづくり・活性化についてさらなる検討を進めるため、平成 26 年度までに延べ 34 回にわたり、まちづくりに関する意見交換、基礎知識の学習、現地調査、ワークショップ等を行ってきた。

さらに、平成 27 年からは、駅東西地区の連携強化と役割分担等による集客力の向上を目指し、魅力ある中心市街地の実現に向けてさらなる取組を進めるため**「御殿場駅周辺地区まちづくり懇話会」**が設立され、さらなる活動を進め、最終的に『中心市街地活性化基本計画の策定に係る提言書』としてとりまとめられ、平成 28 年 2 月に市長への提言が行われた。

表．駅周辺のまちづくりに関する検討会等の開催経緯

◎御殿場駅東地区まちづくり検討会（平成 19 年度～平成 20 年度）

開催日	審議等の経過
H19.7.14	**「駅東まちづくり検討会」の発足** ・役員会（駅南を良くする会）にて「駅東まちづくり検討会」発足について了承
H19.8.26	**「駅南を良くする会」会員への説明** ・会員へ「駅東まちづくり検討会」について説明
H19.12.2	**協議会規約と組織構成** ・協議会規約と組織構成について決定
H20.1.27	**「駅南を良くする会」会員への経過報告** ・経過及び今後の活動の説明
H20.1.28	**新橋区長、副区長へ報告と意見交換** ・組織構成、活動方針について説明・意見交換
H20.2.18	**役員会にて「まちづくりアンケート」の検討** ・「まちづくりアンケート」の調査時期、調査内容、調査地域等について検討
H20.3.1	**役員会にて「まちづくりアンケート」について検討の上決定** ・「まちづくりアンケート」の詳細決定 ・「街頭アンケート」の検討
H20.3.18 ～3.25	**「まちづくりアンケート」** ・駅東地区の住民等関係者にアンケート用紙を 400 部配布、回答 143 部
H20.3.22	**「まちづくりアンケート」進捗状況の確認と今後の活動の検討** ・「まちづくりアンケート」の進捗状況確認 ・「街頭アンケート」の日程等の検討
H20.4.2	**「まちづくりアンケート」調査報告書の検討** ・「まちづくりアンケート」調査結果の分析と総評のまとめ
H20.6.28	**「まちづくりアンケート」調査報告書に関する協議** ・アンケート結果からの意見、要望について意見交換
H20.7.20	**「駅東地区・現地視察」** ・児童館⇒よしの交差点⇒塚本神社⇒御殿場駅箱根乙女口⇒富士病院前⇒（都）新橋深沢線予定地

H20.8.10	**「御殿場駅乙女口街頭アンケート調査」** ・御殿場駅箱根乙女口乗降客を中心に街頭アンケート調査を実施、サンプル数 200
H20.8.19	**「街頭アンケート」調査結果の集計、分析** ・調査結果の集計分析と結果報告会の準備 ・先進地視察の日程、視察地の選定
H20.8.22	**「まちづくりアンケート」「街頭アンケート」結果報告会** ・結果の報告と分析と総評の発表 ・都市計画や道路に対しての質疑応答
H20.9.22	**「駅南を良くする会」会員への経過報告** ・会員へ途中経過の報告とまちづくりに対する意見・要望を収集
H20.10.24	**先進地視察の検討、素案決定** ・先進地視察の視察地、日程、参加範囲等の打合せ、素案決定
H20.11.1	**「まちづくり勉強会」の詳細決定** ・「まちづくり勉強会」への意見交換、日程、場所等の決定
H20.11.26	**「御殿場駅東まちづくり勉強会」** ・駅東口の駅前広場・駅前通りの整備計画について提案・説明
H20.12.14	**先進地視察見学会** ・田園調布駅前広場・住宅地・商店街⇒泉岳寺⇒東京都庭園美術館⇒吉祥寺駅前商店街
H20.12.20	**先進地視察の検証と反省** ・視察見学会、車内アンケートの結果と参加者からの意見をもとに、視察の成果や課題を列挙
H21.1.7	**「検討会の活動報告書」取りまとめについて**
H21.1.16	**「検討会の活動報告書」取りまとめについて（内容構成）**
H21.2.20	**「検討会の活動報告書」取りまとめについて（素案協議）**
H21.2.22	**「活動報告書」の概要報告と意見交換**
H21.3.2	**「検討会の活動報告書」取りまとめについて（協議）**
H21.3.17	**「検討会の活動報告書」原稿ついて**
H21.3.27	**「御殿場駅東まちづくり検討会」について（事業の確認）**

◎御殿場駅東地区まちづくり懇話会（平成 22 年度～平成 26 年度）

開催日	審議等の経過
H22.5.31	**第 1 回御殿場駅東地区まちづくり懇話会** ・懇話会設立経緯、委員紹介、懇話会規約、正・副会長の選出 ・アクセス道路及び駅前広場の計画平面図について ・地元説明会について ・（都）新橋深沢線の整備状況について
H22.6.21	**箱根乙女口広場・（仮）箱根乙女線整備計画説明会** ・駅東地区まちづくり整備計画について ・箱根乙女口広場・（仮）箱根乙女線整備計画について ・測量の実施について
H22.7.12	**第 2 回御殿場駅東地区まちづくり懇話会** ・地元説明会の結果について ・説明会後の動きについて
H22.9.17	**第 3 回御殿場駅東地区まちづくり懇話会** ・（都）新橋深沢線及び駅東地区測量の進捗状況について ・今後の懇話会テーマ等について ・マイロード整備及び SL 広場整備の予定について

H22.10.12	**第 4 回御殿場駅東地区まちづくり懇話会** ・駅周辺整備効果アンケートの結果について ・送迎車両停車ゾーンについて
H22.11.19	**第 5 回御殿場駅東地区まちづくり懇話会** ・防犯のまちづくりについて ・マイロードの整備内容について
H23.1.17	**第 6 回御殿場駅東地区まちづくり懇話会** ・用途地域と地区計画について
H23.2.17	**第 7 回御殿場駅東地区まちづくり懇話会** ・都市再生整備計画について
H23.6.16	**第 8 回御殿場駅東地区まちづくり懇話会** ・平成 22 年度の懇話会活動記録について ・平成 24 年度からの社会資本総合整備計画について ・（都）新橋深沢線及び箱根乙女口整備計画の進捗状況について
H23.7.21	**第 9 回御殿場駅東地区まちづくり懇話会** ・景観について（「景観」とは何か、修景事業の取組事例（三島駅南口）、景観意識の啓発事例（奈良県「残したくない景観」））
H23.8.17	**第 10 回御殿場駅東地区まちづくり懇話会** ・景観について（御殿場市の景観行政の取組状況、取組事例（伊勢市おはらい町、長浜市黒壁スクエア））
H23.9.12	**第 11 回御殿場駅東地区まちづくり懇話会** ・バリアフリーのワークショップについて（ワークショップとは、10/19 予定のまち歩き点検について）
H23.10.19	**第 12 回御殿場駅東地区まちづくり懇話会** ・まち歩き点検の実施
H23.11.11	**第 13 回御殿場駅東地区まちづくり懇話会** ・バリアフリーワークショップの実施（課題や問題点の整理、解決策の検討）
H23.12.14	**第 14 回御殿場駅東地区まちづくり懇話会** ・講演会の開催 講演者：静岡駅西地区市街地再開発組合理事長　糠谷氏 演　題：清水駅西地区まちづくりについて
H24.2.17	**第 15 回御殿場駅東地区まちづくり懇話会** ・平成 23 年度の懇話会活動記録について ・バリアフリーワークショップの結果 ・フォローアップの結果 ・平成 24 年度の懇話会活動予定について
H24.5.16	**第 16 回御殿場駅東地区まちづくり懇話会** ・平成 23 年度の懇話会活動記録について ・平成 24 年度のスケジュールについて ・（都）新橋深沢線の進捗状況について
H24.6.25	**第 17 回御殿場駅東地区まちづくり懇話会** ・駅東地区の用途地域変更の検討結果報告（対象エリアの設定、用途変更案の比較、準防火地域指定及び容積率の検討） ・新橋東公民館、児童館跡地の土地利用検討
H24.8.10	**第 18 回御殿場駅東地区まちづくり懇話会** ・駅東地区の地区計画（素案）の検討結果報告（整備方針、建築物等の用途の制限）
H24.9.20	**第 19 回御殿場駅東地区まちづくり懇話会** ・景観計画策定について状況報告

H24.10.24	**第 20 回御殿場駅東地区まちづくり懇話会** ・御殿場駅箱根乙女口広場の形状について【第 1 回】（駅前広場の役割、条件、課題、事例について、現行案の提示、意見交換）
H24.10.31	**清水駅西地区再開発事業の視察研修** ・清水駅西地区再開発事業の視察
H24.12.3	**第 21 回御殿場駅東地区まちづくり懇話会** ・御殿場駅箱根乙女口広場の形状について【第 2 回】（前回出された意見の整理、変更案の提示、ジオラマを囲んで意見交換）
H25.2.7	**第 22 回御殿場駅東地区まちづくり懇話会** ・御殿場駅箱根乙女口広場の形状について【第 3 回】（前回出された意見の整理、変更案の提示、ジオラマを囲んで意見交換）
H25.5.21	**第 23 回御殿場駅東地区まちづくり懇話会** ・平成 24 年度の懇話会活動記録について ・平成 25 年度のスケジュールについて ・御殿場市景観計画（素案）について（駅周辺の内容について説明）
H25.6.18	**第 24 回御殿場駅東地区まちづくり懇話会** ・御殿場市景観計画（素案）について（ワークショップ形式で意見交換）
H25.8.22	**第 25 回御殿場駅東地区まちづくり懇話会** ・（都）新橋深沢線沿道の用途地域見直し及び地区計画の決定について
H25.10.18	**第 26 回御殿場駅東地区まちづくり懇話会** ・バリアフリー特定事業計画について
H26.1.20	**第 27 回御殿場駅東地区まちづくり懇話会** ・御殿場駅東地区計画について ・バリアフリー特定事業計画について ・御殿場市景観計画について
H26.5.15	**第 28 回御殿場駅東地区まちづくり懇話会** ・平成 25 年度の懇話会活動記録について ・平成 26 年度のスケジュールについて ・無電柱化計画について
H26.6.23	**第 29 回御殿場駅東地区まちづくり懇話会** ・御殿場駅周辺の整備事業について ・富士病院のバリアフリー化の状況について
H26.7.30	**第 30 回御殿場駅東地区まちづくり懇話会** ・中古住宅の流通について
H26.9.18	**第 31 回御殿場駅東地区まちづくり懇話会** ・御殿場駅箱根乙女口広場の設計について
H26.10.15	**第 32 回御殿場駅東地区まちづくり懇話会** ・御殿場駅箱根乙女口広場の設計について
H26.11.20	**第 33 回御殿場駅東地区まちづくり懇話会** ・御殿場駅箱根乙女口広場の設計について ・市長への中間報告会について
H26.12.22	**御殿場駅東地区まちづくり懇話会市長報告会** ・御殿場駅箱根乙女口広場の設計に関する提案について
H27.2.16	**第 34 回御殿場駅東地区まちづくり懇話会** ・御殿場駅箱根乙女口の整備スケジュールについて ・来年度の懇話会の活動について ・駅西側の道路整備について

◎御殿場駅周辺地区まちづくり懇話会（平成 27 年度）

開催日	審議等の経過
H27.7.8	**第 1 回御殿場駅周辺地区まちづくり懇話会** **「御殿場駅周辺の整備計画と課題について」** ・懇話会の設立経緯、活動計画の説明 ・現在予定されている駅周辺の整備事業の説明 ・駅周辺の課題の共有
H27.10.15	**第 2 回御殿場駅周辺地区まちづくり懇話会** **「御殿場駅周辺の課題の抽出（ワークショップ）」** ・駅周辺の課題抽出
H27.11.2	**第 3 回御殿場駅周辺地区まちづくり懇話会** **「御殿場駅周辺の課題解決策の検討（ワークショップ）」** ・駅周辺の課題解決策検討
H28.1.20	**第 4 回御殿場駅周辺地区まちづくり懇話会** **「御殿場駅周辺の課題と解決策について（ワークショップ）」** ・駅周辺の課題解決策提言とりまとめ
H28.2.12	**『中心市街地活性化基本計画の策定に係る提言書』提出**

◎御殿場駅周辺地区まちづくり懇話会（平成 28 年度）

開催日	審議等の経過
H28.8.24	**第 1 回御殿場駅周辺地区まちづくり懇話会** **「御殿場駅周辺の整備事業の進捗状況の報告」** ・前年に説明した駅周辺の整備事業の進捗状況と今後の事業内容を報告 **「中心市街地活性化基本計画（素案）について」** ・提言書の振り返り、基本計画の素案を説明した上で意見交換
H28.11.17	**第 2 回御殿場駅周辺地区まちづくり懇話会** **「中心市街地活性化基本計画（案）について」** ・最終案としてほぼまとまった基本計画を説明 **「イベントホール BE-ONE の活用事業について」** ・来年度以降のイベントホール BE-ONE の活用方法について意見交換
H29.3.3	**第 3 回御殿場駅周辺地区まちづくり懇話会** ・各種報告

◎御殿場駅周辺地区まちづくり懇話会（平成 29 年度）

開催日	審議等の経過
H29.5.26	**第 1 回御殿場駅周辺地区まちづくり懇話会** ・今後の懇話会の進め方について ・ワークショップの概要について ・ミニ・ワークショップ（デモ）の実施
H29.7.28	**第 2 回御殿場駅周辺地区まちづくり懇話会** ・御殿場駅箱根乙女口広場の整備について ・「もし、クロツグミが駅周辺地の未来鳥瞰図を描いたら（ワークショップ）」
H29.10.12	**第 3 回御殿場駅周辺地区まちづくり懇話会** ・「道沿いと水辺の探検遊び（ワークショップ）」
H29.11.22	**第 4 回御殿場駅周辺地区まちづくり懇話会** ・「未来の駅東風景画（ワークショップ）」
H30.2.15	**第 5 回御殿場駅周辺地区まちづくり懇話会** ・「駅東地区のまちなみのデザイン（ワークショップ）」

◎御殿場駅周辺地区まちづくり懇話会（平成 30 年度）

開催日	審議等の経過
H30.5.25	**第 1 回御殿場駅周辺地区まちづくり懇話会** ・箱根乙女口広場周辺等の都市計画の変更等について
H30.6.15	**第 2 回御殿場駅周辺地区まちづくり懇話会** ・箱根乙女口広場周辺等の用途地域等変更について
H30.8.10	**第 3 回御殿場駅周辺地区まちづくり懇話会** ・箱根乙女口広場周辺等の都市計画の変更等について（報告） ・「駅周辺まちづくり」のための参考事例について ～「魅力あるヨーロッパ都市の街づくり」について紹介～
H30.11.8	**第 4 回御殿場駅周辺地区まちづくり懇話会** ・箱根乙女口広場周辺等の都市計画の変更等について（報告） ・御殿場市中心市街地活性化基本計画の進捗状況について（報告） ・御殿場駅前・ポッポ広場の蒸気機関車について ・「駅東地区まちなみデザイン」についての更なるプランニングと意見交換
H31.3.13	**第 5 回御殿場駅周辺地区まちづくり懇話会** ・平成 29、30 及び 31 年度の懇話会活動内容について（意見交換）

◎御殿場駅周辺地区まちづくり懇話会（平成 31（令和元）年度）

開催日	審議等の経過
R1.5.31	**第 1 回御殿場駅周辺地区まちづくり懇話会** ・新橋浅間神社を核とした地域の新たな魅力づくり ～恋人の聖地認定を活かした取組について～
R1.6.27	**第 2 回御殿場駅周辺地区まちづくり懇話会** ・空家対策における本市の取組等について ～「御殿場市空家等対策計画」の概要について～
R1.9.5	**第 3 回御殿場駅周辺地区まちづくり懇話会（御殿場西高等学校との合同開催企画）** ・「中心市街地に元気があるとまちはどう変わる？（ワークショップ）」 ①御殿場の中心市街地が将来こんな風になればいい！ ②御殿場の中心市街地が変わればこんな効果がある！
R1.11.22	**第 4 回御殿場駅周辺地区まちづくり懇話会** ・中心市街地における意見・提案の整理について

表．御殿場駅周辺地区まちづくり懇話会の構成（平成 31 年度）

会　長	福祉住環境コーディネーター
副会長	（有）魚よし水産
委　員	（株）勝又新聞店
〃	（公社）有隣厚生会富士病院
〃	（株）御殿場地所
〃	みなみ妙見
〃	（資）石川商店
〃	（株）根上酒造
〃	（有）勝又重春設計事務所
〃	新橋区副区長
〃	市議会議員
〃	都市計画課長
〃	都市整備課長

◇御殿場駅周辺地区まちづくり懇話会による提言内容（平成 28 年 2 月 12 日）

将来像のテーマ

『都市機能の増進と経済活力の向上』

・**都市機能の増進**…快適性と利便性を兼ね備える魅力ある中心市街地の実現

・**経済活力の向上**…来訪者の増加に向けた賑わい空間の演出

■景観…『富士山の眺望を活かした景観が主役の整備を望みます。』

現在、御殿場駅からは御殿場市の象徴となる世界遺産富士山を眺めることができません。雄大な富士山への眺望で来訪者を迎えることは本市ならではのおもてなしであり、市民も日常生活の中で美しい景観を再認識する機会となります。そのためには、駅正面の高層ビルからホテルや商業施設の機能を移転した上で低層化するとともに良好な景観を構築し、さらに富士山への眺望を阻害している電線の地中化を進める等、本市の重要な交流拠点としてふさわしい景観整備が必要です。

■集客…『地域の特色を活かした民間と公共による新しい複合施設の整備を望みます。』

市街地再開発事業から約 30 年が経過し、再開発ビルの老朽化や商店街の衰退により、駅前でありながら核となるような集客施設がありません。物産店や飲食店街、アウトレットのアンテナショップといった観光客をターゲットにした施設に加え、図書館機能を有した子育て支援施設等市民向けの施設を併設した新しい複合施設の整備が望まれております。オシャレな都市空間をつくるために駅前に行く目的が『交通拠点としての通過点』のみではなく、『魅力的な集客施設』となるような計画的な配置が必要と考えます。

■広場…『幅広い世代が集える街中のオアシスのような空間の整備を望みます。』

現在の駅前広場は、送迎ゾーンやタクシープール、バスバースでスペースが分断されているため、イベントの際の使い勝手が悪く、また人と車の動線が混在し、安全性が低い状況です。これらに対しては、ペデストリアンデッキ（歩行者回廊）により人と車の動線を分離し、デッキ部は人々が集うシティーステージ（催しの広場）のような広場にします。この広場は、子連れの家族、学生、高齢者等幅広い世代の癒しとなる街中のオアシスとして、公園風な空間づくりを図ることが必要です。また、軒田通りの整備による交通体系の変化を見据え、駅南ガード、バスバース、市道 4242 号線を含んだ形で人と車の流れを円滑にするラウンドアバウト（円形交差点）の導入を検討することも必要と考えます。

■駐車場…『駅に近接した場所に大規模（立体型）な駐車場の整備を望みます。』

駅前の活性化には広場や商業施設の整備に合わせて、市内外の来訪者を受け入れられるだけの駐車場が必要となります。そして、景観に配慮した新たな駐車場の整備や店舗ごとに設けている駐車場の集約化等の適正配置を官民連携により検討することが必要です。

図. JR 御殿場駅富士山口周辺整備イメージ
（御殿場駅周辺地区まちづくり懇話会作成）

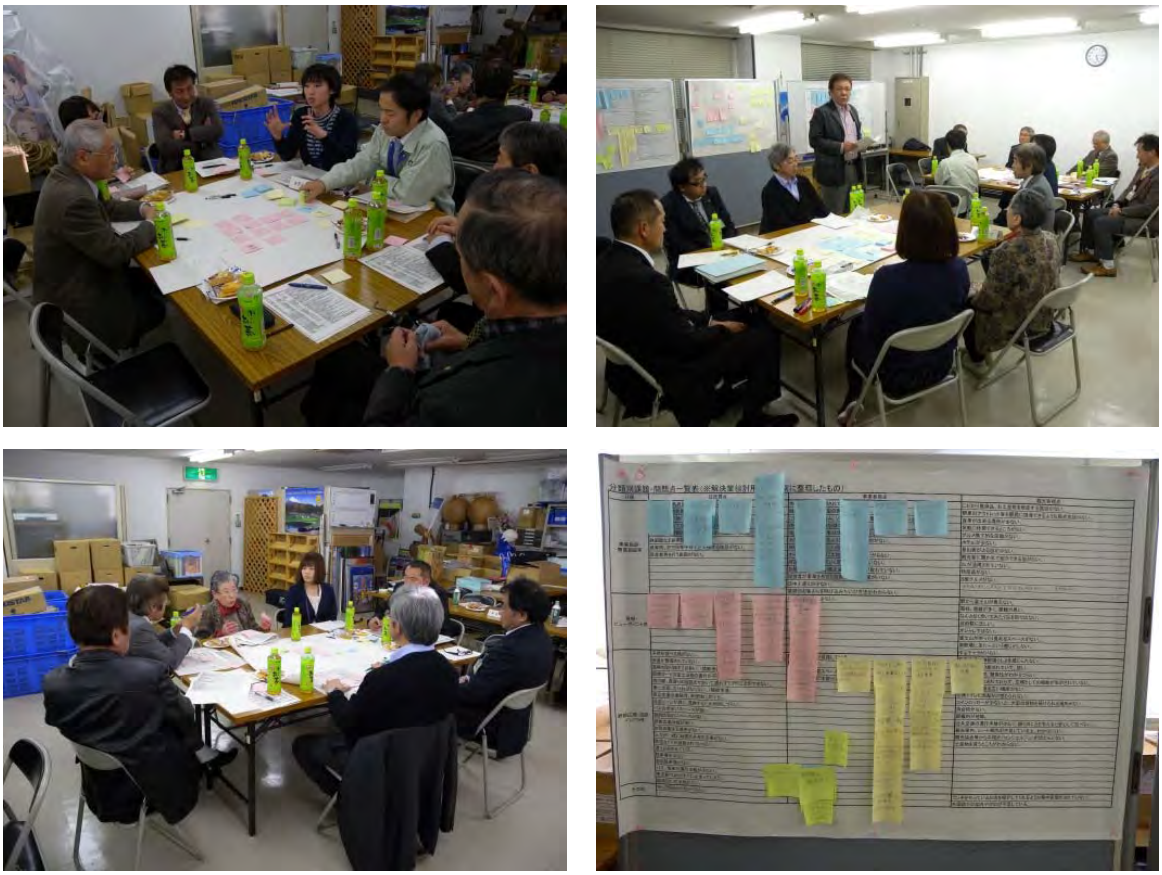

写真. 御殿場駅周辺地区まちづくり懇話会における協議状況

◇御殿場駅周辺地区まちづくり懇話会活動報告書（令和元年 12 月）

御殿場の中心市街地（駅周辺）の現状を踏まえ、御殿場西高等学校の生徒と懇話会構成員との世代を超えた協働活動として意見交換を行いました。

「中心市街地に元気があるとまちはどう変わる？」をテーマに、ワークショップを通じて「中心市街地に求める将来像」とその実現による効果について以下のとおり整理しました。

①中心市街地に求める将来像

○活力あるまち

商業機能の充実や交流の場の創出により、市民や観光客のニーズに対応した活力あるまちづくりを望みます。

主な意見	・商業施設等の充実 ・観光振興 ・交流の場の創出 ・賑わいの創出 ・交通利便性

○暮らしやすいまち

交通利便性や生活利便機能の向上を促進し、子どもから高齢者まで幅広いニーズに対応した場の創出による、暮らしやすいまちづくりを望みます。

主な意見	・交通利便性 ・生活利便施設の充実 ・幅広い世代への充実 ・住環境の充実

○やさしいまち

誰にとっても居心地良く歩きやすい、快適で安全なやさしいまちづくりを望みます。

主な意見	・歩行者空間の確保 ・バリアフリー化の推進 ・円滑な通行

○魅力あるまち

世界遺産・富士山をはじめとする豊かな自然景観など、御殿場市の魅力ある特徴を活かしたまちづくりを望みます。

主な意見	・良好な眺望の活用 ・安らぎ空間の創出 ・まちの個性の活用

②将来像の実現による効果

○人口の増加

中心市街地の魅力向上・活性化により、定住・交流人口の増加が期待されます。

○インフラ（都市施設）整備の促進

施設需要の向上により、道路などのインフラ整備が促進され、安全で快適な環境の促進が期待されます。

○住環境・景観の改善

施設需要の向上により、交通利便性や生活利便機能が向上し、多様なニーズへの対応が可能な住環境の促進が期待されます。

○知名度と来街者の増加（交流・観光の活性化による経済効果を伴う）

知名度の高まりとともに、来街者（観光客）が増加し、商業機能の向上や交流の機会増加が期待され、経済の潤いと活性化が期待されます。

【参考】グループ毎のワークショップの成果

グループA
テーマ：中心市街地に元気があるとまちはどう変わる？

御殿場の中心市街地が将来こんな風になればいい！

○住みやすい環境
- 歩行者にやさしい
- 歩道の整備
- 段差をなくす（スロープなどを設置）
- ユニバーサルデザインを多く取り入れる
- 歩道の拡張
- バリアフリーが充実している
- 高齢者にやさしいまち
- とにかく人が集まる（人が歩いているまち）
- 交通の利便性
- 駐車場の有効利用
- きれいで過ごしやすいまち

○集客（若者）
- チェーン店では無い個人店を
- 老朽化した施設の建て替え
- 若い人も楽しめる施設がある
- 帰ってくるのが楽しみになる
- 若者の施設の増加
- 若者でも楽しめる店を出す
- バルクールのような若者が体を動かせる施設

○集客（全世代）
- 名産品
- 名物店を増やす
- 人がたくさん（集う）
- 人が集まるまち
- 映画館の復活
- 乙女口ロータリー付近のテナント

○景観
- 富士山を活かしたまち
- 富士山の窓口
- 自然が多い
- 富士山がキレイに見えるスポット
- 駅の上に展望台
- 自然のある大きな公園

○市民が暮らしやすい
- 気軽に入れるお店（があると良い）
- 買い物できる！
- スーパーマーケット（があると良い）
- 建物が綺麗
- 商店街の活性化

○観光
- 外国人向けにもする（外国人観光客も意識）
- 電車の待ち時間の使いみち
- 自衛隊の何かの展示スポット
- 映画のまち

御殿場の中心市街地が変わればこんな効果がある！

○人が増える
- どの世代にも楽しめる（高齢者も）
- 世帯数が増える
- 若人が集まる
- 駅周りに人が増える
- 若者が増えて活気がでる
- 住みやすいまちになる（若者にも高齢者にも）
- どんな人も過ごしやすくなる
- 個人店の集客数が上がる

⇔

○交通
- アクセスしやすくなる

⇕

- 駅に行くのが楽しみになる
- 外出し易くなり、外出するようになる
- 都会に行かなくても楽しめる
- 賑やかになる
- 人が増えて新しい良さが見つかる

○観光
- 外国人の観光客も増える
- 富士山の魅力に気づく

○お金
- 金が増え、より整備にまわせる
- （経済が）潤う
- 建物がきれいになる

○知名度
- 有名なまちになる
- 注目され、来る人が多くなる
- 御殿場の知名度の増加
- 自慢のまち！
- 唯一無二のかっこいいまち
- 積極性が増す

○衛生
- ゴミ拾いやボランティアに参加する人が増える

⇕

- 一方で、、、ごみが増えるなど、マナーの低下の懸念される

グループB
テーマ：中心市街地に元気があるとまちはどう変わる？

御殿場の中心市街地が将来こんな風になればいい！

一人で行っても楽しいまち

○施設
- 水族館がほしい
- 市域を展望できるまち
- 駅ビルをつくる
- 小さな子どもと遊べるような場 所を駅 周辺につくる
- 中高生を対象にした娯楽施設の整備
- 上に高いのではなく横に広い商業施設
- ゲームセンターがほしい
- 外に出たいと思うような店をたくさんつくる
- ロケ地として使ってもらうような場所（の創 出）
- 休憩所
- 人口増加に繋がるような施設（住宅））
- 衣服屋、靴屋
- フリースペースがあり自由な時間が過 ごせるまち
- （大人になったとき）皆が集えるフリースペース
- 皆で遊べるところがほしい
- 飲食店以外の店をもっと増やす
- 学生が利用できる図書館のような 施設
- 0歳～小学生が利用できるコミュニ ティスペース（遊び場所）がある
- フレスポ長泉（商業施設と子育て支援施設の を含む複合施設）のような施設

○駅
- 駅構内に店舗により活性化（ 店を増やす）
- 名産物が並ぶ土産ショップ
- 観光客が立ち寄れるところ（の創出）
- BEONEの地下街を活性化
- ICカードの利用

○交通
- 駅前の道路を広くする
- 駐車場を増やす
- 自動運転の整備

○水まわり
- 高架下の側溝の整備（異臭がする）
- トイレを整備する

○食
- 飲み屋だけでなく、若者をターゲットにした店を 増やす
- ランチの食べられる場所（を増やす）
- 駅前の居酒屋を少し減らす
- ランチで和・洋・中など多種多様に選べ るまち
- B級グルメを楽しめる食堂街
- 地域の郷土料理の開発
- 駅前に若者向けの飲食店がほしい（サイゼリア、タピオカ店等）

○便利
- 御殿場周辺地図を多数設置
- 無線LANなどWi-F環境を整備
- 何の店なのかを明確に

○景観
- 御殿場の良さ（富士山、アウトレット）を市街地全体でPRする
- 富士山をアピール
- 水と触れ合える池やせせらぎのあるまち
- 人がたくさん歩い ているまち

○イベント
- 催しものができる場所（会場）をつくる
- 若者が来るようなイベントをやる
- 猟獣狩りに行こ～よ

○街路
- シャッター街（閉店した店舗）を減らす
- マイロードをシャッター街から人が歩けるところにする
- 人の歩行が優先される道（の整備）
- 歩行者の利便性UP
- 車ではなく歩いて行ける近くに店をつくる
- 旧246を有効活用する

○福祉
- 幅広い年齢の人々が立ち寄れる場所を駅周辺に
- 高齢者と若年層が混在するまち
- 高齢者だけでなく子供まで楽しめ るまち
- 住んでも買い物や通院が簡単にできるまち
- 段差をなくす

○インスタ
- インスタ映えをねらう
- 夜を明るく
- 年中イルミネーション
- 珍百景をねらう
- 花がいっぱいのまち
- 花で季節が感じられる
- SL全面推し

御殿場の中心市街地が変わればこんな効果がある！

にぎわう

○施設＆街路
- 経済がまわる（アウトレット以外の強み）
- 人が集まる場所ができる
- 駅周辺に行く目的ができる
- 活気ある御殿場になる
- 年寄りもまちに出てくる

○人口
- 若い人が御殿場に帰ってくる
- 子育てがし易くなり、人口増加（に繋がる）
- 福祉・住宅地の増加→人口増加
- 市外への人口流出を防ぐことができる
- 若者が沼津で遊ばなくなる

○幸福度
- クオリティーが上がり駅前へ出るのが楽しくなる
- 老若男女みんなハッピー（になる）

○知名度
- 駅を使う人が増える
- 県外や市外からも人が来る
- 御殿場のことを広く知ってもらえる

○食
- もっと特産品のアピールを！（水かけ菜など）
- （御殿場）経由で外食（が増える）

相乗効果

○景観
- 写真家スポット（が増える）
- 富士山が見えなくてがっかりがなくなる

○インスタ
- リピーターが増える
- 若者が集まりやすくなる
- SNSによる知名度がUP
- 注目度がUP
- 若者がはるばるやってくる

○イベント
- 市民同士の交流が増える
- 多世代交流（が盛んになる）

○便利
- 安全なまちのイメージが定着
- 車がない生活が可能
- 人の移動が不要で時間に無駄がなくなる
- 観光客も快適に過ごせる

○福祉
- 福祉（環境）が整備されることで高齢者とその家族が住みやすくなる
- もっと子育てに優しいまちになる
- 福祉の充実→高齢者が駅周辺地を利用できる
- 高齢者も気軽に利用できる

○交通

（電車）
- 国府津方面までSuicaなどが使えるように なると良い
- 電車待ちの学生や観光客の時間がつぶせる
- 車だけで来るのではなく、電車 を利用し てもらえる人が 増える

（車）
- 交通手段が増える
- 除雪を最優先にやってもらえる
- 道が良くなれば事故も減る

グループC
テーマ：中心市街地に元気があるとまちはどう変わる？

御殿場の中心市街地が将来こんな風になればいい！

○公共
・こども園、公園（富士見）の整備）
・図書館（学生や家族で過ごせる）を設置）
・家族で集まれる（施設や場所の創出）
・人が集まりたくなる（施設や場所の創出）
・市民交流センター（を設置）
・人が集まる場所（の創出）
・学生が自習できる学習スペース（の創出）
・学ぶ場所（の創出）
・勉強スペース
・サイクリング施設（の設置）

○観光
・観光の強化
・駅から富士山が望める
・御殿場の夜景をキャッチフレーズにもっとアピールを
・観光客で賑わう場所（の創出）
・土産屋

○福祉
・医療
・バリアフリー（整備の推進）
・病院など医療機関（の誘致）
・まちをきれいに

○住宅（住まい）
・住宅街（他方からでも）の充実）
・手頃なアパート（の充実）

○集客
・映画館・劇場（の設置）
・映画館の復活
・ショッピングモール（の設置）
・駅構内にカフェなどを設置
・富士山の前の通りへカフェを設置
・時間調整できる場所（電車・バス利用者）（の創出）
・ゆっくりできる場所（の創出）
・中心市街地へのスポーツ娯楽施設（の誘致）

○交通
・新幹線の駅（の設置）
・リニアの駅（の設置）
・空港（の設置）
・バス・在来線（電車）の増便
・電気自動車などの充電施設の増加
・道路（歩道）を広くし、自転車も通りやすいようにする
・道路の舗装

御殿場の中心市街地が変わればこんな効果がある！

○公共・住宅・交通→人口増加
・人口増につながる
・人口増加
・中心部の若者人口が増える
・移住定住者の増加
・若者のUターンが増加
・バリアフリーによって定住者の増加

○観光・集客→観光客の増加
・観光客の増加
・外国人観光客も増える
・観光案内所
・アウトレットで（の買い物）目的以外の観光客が増加
・スポーツ施設（の設置）による若者やファミリー層の増加
・駅前へのカフェ設置により学生が増加
・少しの時間でも立ち寄る人が多くなる

○公共→子育て
・子育てしやすくなる
・若者も高齢者も過ごしやすくなる
・コンパクトシティの実現の増大
・活気があふれる（まちになる）
・賑わい（が増える）
・中心市街地の活性化と共に他の地区も活性化

○オリンピック
・サイクリスト
・サイクリング施設
・他地方への「御殿場市」の知名度が増加

②準工業地域における大規模集客施設立地の制限に伴う説明会

平成 28 年 7 月 5 日、準工業地域における特別用途地区（大規模集客施設制限地区）の都市計画決定に係る説明会を開催した。

表．説明会の開催状況

開催日	内容・結果
平成 28 年 7 月 5 日 （参加者：8 名）	**〇将来的にホテルの増築を考えているが、今回の都市計画決定は影響しないか。** →今回の都市計画決定はあくまで大規模な商業施設を制限するものであるため、ホテルの増築は、建ぺい率、容積率の基準内であれば問題ない。 **〇ホテルの中で一部店舗、飲食店を併設することも可能か。** →客室部分の床面積は除いた上で、10,000 ㎡を超えなければ可能である。

③御殿場市中心市街地活性化基本計画（案）についてのパブリックコメント

中心市街地活性化に係る市民意見を収集するため、基本計画（案）への意見募集（パブリックコメント）を 2 回実施し、計 4 件の意見の提出があった。

【1 回目】
- 意見募集期間：平成 28 年 8 月 5 日～8 月 19 日
- 意見提出件数：4 件

【2 回目】
- 意見募集期間：令和 2 年 2 月 7 日～2 月 21 日
- 意見なし

［２］中心市街地活性化協議会に関する事項

（１）御殿場市中心市街地活性化協議会構成員

平成 28 年 10 月 31 日、中心市街地活性化法第 15 条に基づき、「御殿場市中心市街地活性化協議会」が設立された。

表．御殿場市中心市街地活性化協議会構成員（順不同）

区分	構成団体	根拠法令
経済活力の向上	御殿場市商工会	法第 15 条第 1 項
都市機能の増進	御殿場まちづくり株式会社	
商業の活性化	協同組合森の腰商栄会	法第 15 条第 4 項
	湯沢商店会	
	軒田通り商店会	
	駅南を良くする会	
	御殿場おかみさん会	
公共交通機関の利便増進	箱根登山バス株式会社	
	小田急箱根高速バス株式会社	
	富士急行株式会社御殿場営業所	
	ジェイアールバス関東株式会社	
	小田急電鉄株式会社	
	静岡県タクシー協会御殿場・裾野支部	
行政	御殿場市都市建設部	
	御殿場市産業スポーツ部	
地域経済	一般社団法人御殿場市観光協会	法第 15 条第 8 項
	御殿場農業協同組合	
	一般社団法人御殿場青年会議所	
	静岡県中小企業家同友会御殿場支部	
	三菱地所・サイモン株式会社	
	静岡県立御殿場南高等学校	
	御殿場駅周辺地区まちづくり懇話会	
	御殿場市都市計画審議会	
環境・コミュニティ	新橋区	
医療・福祉	御殿場市社会福祉協議会	
	公益社団法人有隣厚生会富士病院	
オブザーバー		
治安・防災	静岡県御殿場警察署	法第 15 条第 8 項
関係行政機関	静岡県経済産業部地域産業課	

（２）協議会開催状況

表．御殿場市中心市街地活性化協議会の開催状況

協議会の開催日	協議事項等
平成 28 年 10 月 31 日	**第 1 回協議会** ・協議会の設立（規約の制定） ・役員の選出 ・御殿場市中心市街地活性化基本計画（素案）について
平成 28 年 11 月 18 日	**第 2 回協議会** ・御殿場市中心市街地活性化基本計画（素案）について
平成 29 年 2 月 28 日	**第 3 回協議会** ・御殿場市中心市街地活性化基本計画（素案）について
令和元年 11 月 18 日	**第 4 回協議会** ・御殿場市中心市街地活性化基本計画（案）について
令和元年 12 月 19 日	**第 5 回協議会** ・御殿場市中心市街地活性化基本計画（案）について

（３）協議会規約

御殿場市中心市街地活性化協議会　規約

（名称）

第１条　本会は、御殿場市中心市街地活性化協議会（以下「協議会」という。）と称する。

（目的）

第２条　協議会は、御殿場市の中心市街地における都市機能の増進及び経済活力の向上の総合的かつ一体的な推進に寄与することを目的とする。

（活動）

第３条　協議会は、その目的を達成するため、次の活動を行う。

(1) 御殿場市が作成する中心市街地活性化基本計画及びその実施に必要な事項について総合的に調整し意見を提出する

(2) 中心市街地活性化に関する意見交換及び情報交換

(3) 中心市街地活性化のための勉強会、研修及び情報交換

(4) 前各号に掲げるもののほか、中心市街地活性化の総合的かつ一体的な推進に関して必要な事項

（事務所）

第４条　協議会は事務所を御殿場市萩原５１５ 御殿場市商工会に置く。

（委員）

第５条　協議会の委員は、次の者をもって組織する。

(1) 中心市街地の活性化に関する法律（平成１０年法律第９２号。以下「法」という。）第１５条第１項の規定に該当するもの

(2) 法第１５条第４項の規定に該当するもの

(3) 前各号に掲げるもののほか、協議会において特に必要があると認める者

２　委員の任期は２年とする。但し、再任を妨げない

（役員）

第６条　協議会に会長、副会長を置き、委員の中から選任する。

２　会長は、協議会を代表し、会務を総理する。

３　副会長は、会長を補佐し、会長に事故があるとき、又は会長が欠員したときは、その職務を代理する。

（会議）

第７条　協議会の会議は、（以下「会議」という。）会長が招集する。

２　会長は、会議を招集するときは、会議の開催場所及び日時並びに会議に付すべき事項をあらかじめ委員に通知しなければならない。

（会議の運営）

第８条　会議は、委員の２分の１以上の者が出席しなければ、開くことができない。

２　会長は、会議の議長となる。

３　会議の議事その他会議の運営に関し必要な事項は、会長が会議に諮って定める。

（協議結果の尊重）

第９条　協議会の委員は、会議において協議が整った事項について、その協議結果を尊重しなければならない。

（事務局）

第１０条　協議会の事務を処理するため、協議会に事務局を置く。

（経費の負担）

第１１条　協議会の運営に要する経費は、補助金及び負担金、その他の収入により負担するものとする。

（補則）

第１２条　この規約に定めるもののほか、協議会に関し必要な事項は、会長が会議に諮って定める。

附　則

１　この規約は、平成２８年１０月３１日から施行する。

２　協議会設立時の役員の任期は、平成３０年３月３１日までとする。

（４）協議会で出された主な意見

表．協議会で出された主な意見

開催日	内容・結果
第１回中心市街地活性化協議会 （H28.10.31）	**○軒田通りは都市計画に関してかなり関係のある場所。住民に対して、ある程度オープンにする機会を設ける必要がある。** **○中心市街地活性化協議会としてはあと２回開催し、基本計画を３月までに内閣府に出すということか。** →その通り。最終的には、「意見書」をいただく形となる。 **○駅前広場について、送迎スペースの拡張を盛り込んだ計画としてほしい。** **○市民のためなのか、観光客を誘致するためなのか、はっきりしない。総花的に活性化という文字が躍ってしまっており、立派な施設ができても人が歩かない状況にならないか危惧している。** →市民でも、観光客でも、御殿場駅周辺に人が集まるようにしたいというのが第一である。 →市民目線としては、昼間の人通りが少ないため、図書館機能を有する複合施設を核施設として整備し、人を呼び込みたい。これによって回遊性のあるまちになっていくことを期待している。 →観光客目線としては、低層化集客施設を整備し、そこに土産物を買う施設を置くことによって、観光客が御殿場駅周辺で少しでも時間を作って回遊することを期待している。
第２回中心市街地活性化協議会 （H28.11.18）	**（１）事前に頂いた意見** **○ＪＲ御殿場駅富士山口周辺整備イメージ図は、まちづくり懇話会の提言をもとに作成したものか。** →まちづくり懇話会にて中心市街地活性化についての協議を重ね、出された意見は最終的に提言書として市に提出されている。イメージ図は、提言書とともに懇話会から示されたものである。 **○来年３月の認定申請後であっても、協議会で計画の検討、変更は可能か。** →申請後、 ・地域の名称の変更や、地番の変更に伴う範囲の変更 ・事業等の実施期間に影響がない場合における、計画期間の６月以内の変更 ・基本計画の実施に支障がないと内閣総理大臣が認める変更 以外の変更が生じた場合には、内閣総理大臣による変更の認定が必要となる。 **○協議会にも、関係建物の地権者等が入るべきではないか。** →地権者については、個別に、事業に関する協議と基本計画の内容に関する説明をさせていただいているため、協議会のメンバーには入っていない。 **○駅前のＳＬについて、移設を考えているのか。** →駅周辺から別の場所への移設は考えていない。 **○協議会規約第１１条にある「負担金とその他収入」について説明してほしい。** →協議会にて経費が必要になる場合に、市からの補助金や商工会の負担金等が考えられるが、現時点では想定していない。 **（２）協議会当日の意見** **【ＰＦＩ事業について】** **○ペデストリアンデッキ、駐車場及び駐輪場はＰＦＩによる整備とのことだが、事業期間はどの程度を想定しているのか。また、国の支援がない事業の予算措置はどうなっているのか。** →民間活力を利用し、民間主導によって５年間の中で事業を進めていく。

開催日	内容・結果
	【歩行者空間の確保について】 ○歩行者空間の確保とあるが、中心市街地ではまだまだ歩道が脆弱。駅を中心にどこまで歩行者空間を確保していくのか。それによって回遊性も変わってくるのでは。せっかくいいものを作っても、歩行者空間も整っていないとなかなか人が出てこない。 ○歩行者の流れがはっきりしてないと治安上・防災上非常によろしくない。安全に楽しんでいただくためには、安全な施設でないといけない。人の流れがどのようになるのか具体的に示していただきたい。 →優先的にやっていく道路整備事業を掲げている。その他の道路の整備についても、今後実施していく必要があると認識している。 **【複合施設整備事業（図書館機能を有する）について】** ○補助金の補助金による補助金のための事業のような気がする。BE-ONE の事例を考慮していないような気がする。ただし図書館を設けるのは良いと思う。 ○市内の既存の図書館は蔵書が少ない。新しい図書館を作るにしても、質を高めることが必要。 ○現在の御殿場駅の周辺は、正直学生にとってはあまりよろしくない環境だと思う。図書館機能を有する複合施設の充実を図る等、中心市街地の活性化にあわせて、そのような状況を解消してもらいたい。例えば沼津市のプラザヴェルデのような、子どもが勉強したり、学習したりすることができるような居場所づくりが必要では。 ○図書館機能が入る複合施設は非常に良いアイデアだが、それだけの規模の事業をどのような民間企業がやるのか疑問。候補者がいるならば教えていただきたい。 ○毎月第１日曜日、駅の活性化を目指して、おかみさん市をやっているので、活性化は大歓迎。まちなかに公共施設があるのは良いことだと思うが、中途半端な規模であれば集客が難しいと思う。 →基本的に民間の力を活かして建物を整備し、そこに市がテナントとして入る形を想定している。図書館機能を持った施設として市がフロア借りすることについて、地主と調整中である。 **【低層化集客施設整備事業について】** ○低層化集客施設の整備、物産館の誘致とあるが、地権者との調整はどうなっているか。 ○一番気になるのはソフト事業。御殿場の特産品を販売する等、個店独自の、そこでしか買えない物を販売する店舗ができてくれば、市民も足を延ばすのではないか。 →可能であれば土産物も売る施設の誘致を進めたいが、開発事業者が入ってこないとなかなかできない。 **【外国人誘客、Wi-Fi 事業について】** ○富士山という宝があるので、インバウンド、外国人の集客等ワールドワイドに考えてみるのも一つではないか。 ○駅前で物を売るのが難しい時代。人通りが少ない中でのハード型の駅前商業は、かなりハードルが高いのでは。最近特にインバウンドが増えているが、その方々の目的地はどこか、どういったニーズがあるのかという要素がもう少し厚くていいのかなと感じている。特にインバウンドの方だと情報をとりたい時にどうしても携帯、Wi-Fi 通信環境のニーズがかなり高い。また知らない地域で消費する時に、かなりネットから情報を得ていることを考えると、Wi-Fi 等

開催日	内容・結果
	で容易に情報をとれる環境整備が必要。まずは外国人が外国人に情報を流すためのソフト面の整備が必要。 →外国人の利用も想定したWi-Fi事業についても大変重要であり、ソフト事業として推進する必要があると認識している。 ○御殿場まちづくりが運営しているコミュニティ施設、施設のフロア貸し等によると言うことだが、駐車場整備も必要。 →自動車による来街者への対応を図るため、駐車場整備を検討している。 ○軒田通りの歩行者交通量が9.8%増加となっているが、これは市役所職員の通行量が増えたということでは。 →市役所職員の通行箇所と交通量の調査箇所は異なるため、そのような理由から通行量が増えたというわけではない。 ○御殿場で降りる客の大部分はアウトレットへ行く。御殿場駅周辺に立ち寄る客は皆無だと思う。アウトレットからさらに足を延ばせる方策があれば。やはり、客が駅に来て買い物をする、映画を見るという施設がないと、なかなか駅に行こうという人はいないと思う。 →乙女口で乗り降りするアウトレット目的の観光客を富士山口にも誘引する方策を推進し、現状を打開していきたい。 **【その他意見】** ○何を目指そうとしているか、焦点がぼけてしまっている気がする。 ○商店街の活動は、今は街路灯がメインとなっている。その他の活動がおろそか。この問題を解決しない限り駅前の整備は難しいのでは。 ○いかにして人通りを取り戻して、駅前を活性化するかというのが願い。あくまでも官民協力で実現を目指す。例えば藤枝駅前が成功例の一つで、官民協力して建物を建てて、それを利用してにぎわいを取り戻している。御殿場も、官民挙げて成功させたい。 ○眺望とにぎわいがポイントではないか。人が集まって初めて眺望・にぎわいの価値がある。市民・観光客が駅に立った時に、何を求めるのか。例えばベンチが欲しいだとか、細かい所も意見をいただければ。 ○生涯学習機能ということ、富士山や自然の学習ができる、博物館のような施設を作っていただきたい。 ○駅周辺の整備を行った上で、郊外の機能を充実していただきたい。スポーツ施設、特に野球場を充実したものにしていただきたい。 ○飲食店等夜はにぎやかだが、昼は寂しい。それをインフラ整備によって解消できるのか疑問。官民一体で、民間も納得できるような運営を期待したい。 ○過去は商店街として非常に人も多く、祭りも非常に盛大にやっていたが、今はほとんどの店が閉まっている。何か現実的でないような気がする。現実のレベルでわかるような形で、自分たちも理解しなければいけない。 ○御殿場駅は単なる乗換駅になってしまっている。ときどき、どこかで食事やお茶をする所はないかと質問を受けるが、私自身も思い浮かばない。ただ、少し歩けばいろいろな飲食店があるので、ＰＲ等して、30分でも1時間でもとどめてお金を落とさせる。そのような仕掛けが必要。 ○買物弱者支援事業の事業主体と実施範囲が実際と異なっている。買い物弱者事業及び商店街ポイント事業としていただき、ポイント事業でにぎわいづくりができることを付け加えていただきたい。 ○駅から富士山が見えるだけでは魅力を感じないのでは。また、ペデストリアンデッキは御殿場線の本数を増やしてもらわないと効果がないのではないか。さらに、雪が多いという地域性からも、転倒する等の危険も高い。御殿場らしさ

開催日	内容・結果
	があり、実態に合った形で活性化を目指すのが良いのでは。例えば富士山を見せたいのであれば、タワーが駅前にあれば面白いのでは。「おもてなしのまち御殿場」をスローガンに掲げているが、バリアフリーが重要。誰でも使えるトイレやベンチ、授乳できる場所がいろいろあるとか、そのようなまちづくりがおもてなしのまち御殿場になっていくのでは。
第3回中心市街地活性化協議会 (H29.2.28)	**○アパート等は空室が多く、民間分譲マンションもなかなか売れてない状況のなか、居住人口を増やす事業が必要なのか疑問に感じる。** →中心市街地の人口を増やす施策、何らかの事業展開は必要と考えているが、現時点で住宅供給に関連する事業はなく、中心市街地における住宅建築の補助等もないため、民間に頼らざるを得ないのが実状である。いずれにしても、中心市街地の人口を増やすためには、マンション・アパート等の建設が必要と考える。 **○ヌマヤ跡地は図書館施設や子育て・高齢者支援施設が入ると思っていたが、スーパーも入るのか。** →駅前のサロン、図書館機能、子育て、お年寄りが囲碁・将棋をやれるような生涯学習的な施設をテナントとする施設を考えている。また、これにプラスアルファで何らかの民間施設が入る形になろうかと思っている。 **○低層化集客施設に中堅総合スーパーを入れる計画のようだが、車で買い物に来る方も相当いるのではないか。駐車場の確保も含めて計画に入れないと、売上はおそらく達成できない。** →旧静銀跡地、社会福祉協議会の跡地を駐車場として考えている。また、駅北の駐輪場も状況によっては駐車場として、例えば立体駐車場を整備する等も考えている。 →仮に社会福祉協議会の跡地に平面駐車場を整備した場合、40 台程度は確保可能。また、3 階～4 階建の立体駐車場を整備した場合は 90～100 台程度は確保可能。 **○ペデストリアンデッキを整備するから利用者が増えるのではなく、巨大な集客施設の整備等、何か一工夫必要。** →何らかの集客施設ができないと、駅周辺の活性化には繋がらないと認識している。基本的には民間開発事業者等による施設の整備を考えており、併せてペデストリアンデッキの整備も進めていきたい。ペデストリアンデッキは市事業でやるのか、民間等を活用した PFI 方式を採るのか検討中である。 **○御殿場市は駅前の BE-ONE ビルが先行してまちづくりが進んできた。当時は選択肢として成り立ったが、これからは、やはり官民一体、公共と民間が上手くリンクしたまちづくりが必要。いずれにしてもまちづくりは時間とお金がかかるので、関係者それぞれが“餅は餅屋”で頑張って参加していただきたい。**
第4回中心市街地活性化協議会 (R1.11.18)	**○前回も会議に出席したが、中心市街地活性化基本計画は、国の認定を受けて補助金を得ることが前提だったと思うが。** →人口増加に直接寄与する事業がないため、認定申請は見合わせている。ただし、今後有効な事業が見つかれば、認定申請する可能性はある。 **○認定を受けるための期限（タイムリミット）はあるのか。** →（今の制度が変わらない限り）特に期限は設けられていない。1 年で 2～3 回ほど認定申請のタイミングがあるので、それに合わせる形になる。令和 2 年度～令和 6 年度が今回の計画の計画期間となるので、その間に動きがあれば認定申請する可能性はある。 **○国の認定を受けるとどうなるのか。** →要件を満たす事業について、国の補助金を受けることができる可能性がある。なお、今回認定申請は見合わせているが、市としては活性化のための事業・取組はすぐにでもやるべきとの認識がある。そのため、市独自の活性化基本計画として、今回策定することにした。

開催日	内容・結果
	○最近意識したことだが、富士山の見え方が御殿場と沼津とで異なる。例えば、富士山をイメージする三角形のものを作ったら補助金を出すといった取組はどうか。また、単発で終わる取組ではなく、継続して実施することが可能な取組を行っていくべき。最近は熱海市が活性化しているのをよく聞く。 →先日、熱海市に視察に行ってきたところである。まちなかに車の出入りを制限している道路があって、そこには空き店舗はなく、にぎわいを見せていた。ただし、そこからちょっと離れると空き店舗が多くある状態でもあった。全体的に熱海市は坂道が多く、歩くには厳しいと感じた。 ○熱海市は小さい工夫をたくさん行っている。女性が活躍しているのが特徴。 ○以前は、駅前にペデストリアンデッキを整備する内容が盛り込まれていたが、実現にはハードルが高く、この5年間では整備は難しいと認識してほしい。なお、軒田通り（（都）新橋茱萸沢線）は現在一方通行だが、将来的には幅員19ｍの道路として整備、対面通行となる。 ○今後の民間（開発等）の動向をどこまで情報提供できるか、今のところわからない。箱根乙女口は観光協会が新たにオープンするので、人の流れも少し変わってくるのではないか。 ○前回（第3回協議会）との違いを、もう少し分かりやすく説明していただきたい。もっと委員の意見が出ないといけないが、行政のみに責任を押し付けることはできない。官民協働で計画策定と活性化に取り組んでいくべき。
第5回中心市街地活性化協議会 （R1.12.19）	○（都）新橋茱萸沢線の整備完了はいつ頃か。 →県からは、来年度あたりから工事に入りたい旨の話を頂いているが、建物移転や無電柱化工事の関係もあり、5～6年はかかると見込んでいる。 ○活性化の目標1の「市民や観光客等多様な来街者でにぎわうまちをつくる」と目標2の「生活者や来街者に便利なまちをつくる」は、ともに市民と観光客を対象としている。市民が感じる便利なまちと、観光客が感じる便利なまちは異なると思うので、目標1は市民・生活者に視点を置き、目標2は観光客に視点を置いたほうが分かりやすいのでは。中心市街地を利用する市民が増え、その延長として観光客が増えると考える。 →市民が主であることは念頭に置いており、その上で、観光客にも利用してもらえれば良いと考えている。意見を踏まえ、活性化の目標について再考させていただく。 ○道路が広がって車の交通量が増えることも大事だが、何よりも人が歩きやすい道づくり（まちづくり）をしていくべきであり、御殿場駅周辺に来ると何か面白いものがあるから歩いて行こう、という人が増えると良い。複合施設の整備等は、まちなかをたくさんの人が回遊するものとなるように考えてほしい。 →にぎわい創出のため、複合施設を軒田通り（（都）新橋茱萸沢線）に整備する予定。それによって、駅から複合施設まで歩いていただきたい。 →軒田通り整備が完了すると、対面通行となり車の交通量は増えるが、周辺の渋滞解消や若宮交差点の安全確保のため、歩道も含めしっかり整備したい。 ○国では「居心地が良く歩きたくなるまちなか」というテーマのもと、ウォーカブル推進都市の取組が進められている。 ○現在、御殿場駅から直接富士山は見えないが、少し歩けば富士山が見えるスポットがある。新観光案内所には、そのような眺望スポットができるようだが、他にも駅周辺で何箇所かあるとよい。また、そこに行けば富士山が見えるというだけでなく、何か他にも付加価値のあるスポットとして整備して、回遊性を高めていくことが重要。 →御殿場駅富士山口「ぽっぽ広場」のSL前からは富士山が見え、景観条例で建物の高さも規制している。そのようなところで眺望スポットを整備するのは手段の一つと考えているが、現時点では何も決まっていない。なお、軒田通り（（都）新橋茱萸沢線）の幅員が19mになり、歩道から富士山が見える

開催日	内容・結果
	場所がかなりできてくるため、そういった部分の情報発信も考えている。 **○小売業の減少をどのように食い止めるか。また、「活性化に寄与する種々の取組」とは、具体的にどのような取組を想定しているのか。やはり、まちづくりはハードだけではなく、そこに行ってみたくなるような、回遊性が高くなる魅力的なものがないと、なかなかうまくいかないと思う。** →複合施設等の整備に伴って、少しづつではあると思うが人が集まり、出店が増え、さらに人が集まるという相乗効果を期待している。 **○軒田通りの整備も良いかも知れないが、これに付随して自然と共存できるようなまちになると、子どもたちにとっても良いと思う。そうすると、居住する人が増え、商業なり施設なりも増えてくるのではないか。** **○以前、（都）新橋深沢線の歩道の色や形状、照明、他所との比較や成功事例などを協議したが、軒田通りはどうか。** →軒田通りの整備は県事業であり、県の判断が基本。ただし、単純な整備は市としても避けたいので、できる限り地元の方々の意見を頂き、反映させたい。 **○他所では、ただ単純に歩道があるのではなくて、合間合間にイスが整備されていたりする。また、恋人の聖地になっている浅間神社から清流が流れてくる、といったようなものがあると、近くに住みたいと思う人も出てくると思う。** →軒田通りについては、道路の整備が進まないことには、どこから富士山が眺望できるか分からない。整備が進み、富士山が眺望できるところがあれば、近くにベンチを置くなどの相談が関係権利者にできるのではと考えている。 **○複合施設の図書館機能が 200 ㎡程度、子育て支援機能が 100 ㎡程度となっているが、本当に人を呼べるだけの十分なスペースが確保できるのか疑問。** →施設規模が不明確であるため、床面積は小さめに想定しているが、想定規模以上での整備を目指したい。図書館は、蔵書を相当数置くようなことはせず、市の図書館と連携して貸し出しができるようにしたいが、中高生の利用を主として考えているところもあり、参考書のようなものを置いたり、お母さんたちが見るような雑誌を置いたらどうかという話も出ている。 **○御殿場市は来年のオリンピックの自転車競技会場となることから、今後自転車関連のイベントが増え、オリンピックコースを走りたいというサイクリストのニーズも高まると思う。現在、駅裏にベンチを兼ねたサイクルステーションを置いているが、御殿場市を自転車の聖地とするため、サイクリストに対する「もてなし」が必要と思う。** →富士山を１周する通称「富士いち」というコースがあるが、軒田通りをスタート地点とするもので、自転車通行帯を整備することも一つではないかと考えている。自転車通行帯によって自転車が安全に通行できるようになると、さらに多くのサイクリストが集まると思う。ただし、県による軒田通り整備あってのものであるので、全体的な中で今後考えていくことが必要。 **○空き店舗対策について、実際に空き店舗を使う方のニーズに合致しているか分からない。使う側の意見を聞き、施策に反映することが重要。** **○民間が今後の動向をどのように見据えていて、どのような条件が整っていればよいのか、トレンド的なところも含めて計画に盛りこんではどうか。** **○箱根乙女口では、アウトレット等に行く大勢の人がバスを待っているが、イスもない。風よけのある待合室を設置していただけるとありがたい。** →現在整備中の観光案内所に待合空間を作っていただけないかと要望しており、当方としては、要望どおりに整備していただけると考えている。また、それだけでは足りないだろうということで、風防までは難しいと考えているが、箱根乙女口広場に（通路下などを上手く利用して）、もう少しイスを増やそうと考えている。また、バスを待っている方は高齢者が多いと聞いており、移動困難時にイスが欲しいという意見も頂いている。どこに、どのように整備するかは検討中である。

［３］基本計画に基づく事業及び措置の一体的な推進等

（１）客観的現状分析、ニーズ分析に基づく事業及び措置の集中実施

御殿場市中心市街地活性化基本計画の策定に当たり、次のアンケート調査等の結果を参考とした。

・旧法計画策定時に実施した住民意向調査（平成 12 年 10 月実施）
・都市再生整備計画（御殿場市中心市街地地区）の事後評価時に実施したアンケート調査（平成 22 年 9 月実施）
・御殿場市バリアフリー基本構想策定時に実施した住民アンケート調査（平成 23 年 7 月～8 月）
・御殿場市景観計画策定時に実施したアンケート調査（平成 23 年 9 月～10 月）
・第四次御殿場市総合計画策定時に実施した市民意識調査（平成 26 年 6 月）

（２）様々な主体の巻き込み及び各種事業等との連携・調整

①市民・事業者等の検討の状況からのニーズ分析

御殿場市中心市街地活性化基本計画の策定に当たり、次の市民や事業者の検討状況の結果を参考とした。

・御殿場駅東地区まちづくり検討会
・御殿場駅東地区まちづくり懇話会
・御殿場駅周辺地区まちづくり懇話会

②パブリック・コメントからのニーズ分析

御殿場市中心市街地活性化基本計画の策定に当たり、平成 28 年 8 月 5 日～8 月 19 日に実施したパブリック・コメントの結果を参考とした。

表．パブリック・コメントに寄せられた意見と対応方針

基本計画の項目	件数	意見	対応方針
8 章	1	市民への公共交通の利用を促し、公共交通で活動できる範囲を増やすことで利便性と滞留性が増すと思われるので、公共交通の見直しを図った計画の策定をお願いいたします。	本計画において各事業と関連するソフト事業において、公共交通の利用に増進する事業を検討していきたいと考えております。 今後参考とします。
7 章	1	ＪＲ御殿場駅舎屋上に富士山型モニュメントを設置し、旧来からの富士山玄関駅としての伝統と歴史を全国に発信するとともに、御殿場市中心市街地の名物とすることで、街の活性化を促進する。	富士山の玄関口としての魅力を発信していくために、駅周辺において、御殿場の土産物を買うことができる物産館の誘致を検討しております。ＪＲ御殿場駅舎屋上へのモニュメント設置ですが、駅舎の持主が市ではないので難しいと考えておりますが、違ったかたちで御殿場の伝統と歴史が発信できるような工夫をしていきたいと考えております。 今後参考とします。

基本計画の項目	件数	意見	対応方針
7章 8章	1	地域にデザインコンセプトを設け、エンターテイメントを集める。 広場において、「祭り」や「郷土芸能」の舞台づくりを行う。 駐車場と駐輪場の棲み分けを行い、駐車場から駅前施設まで雨に漏れない対策を施す。	駅前広場にペデストリアンデッキを整備し、低層化集客施設の屋上広場と一体利用できるようになり、富士山を望みながら今より規模の大きいイベントの開催が可能となります。「祭り」、「郷土芸能」を取り入れたイベントが開催できる場所としてペデストリアンデッキや屋上広場の提供ができると考えております。 現在の駐輪場に予定をしている立体駐車場は駐輪場と駐車場の階を分けることで自転車と自動車の棲み分けができるようになると考えております。 また、ペデストリアンデッキの下を通ることで雨に濡れずに低層化集客施設、駐車場又は駐輪場から駅前施設まで通行できるよう今後の設計において検討してまいります。 今後参考とします。
3章 7章	1	民間事業者が採算に合う事業が可能か疑問である。また、新しい施設の中に入るテナント、業種構成、ソフト事業により人が来るか来ないか左右される。 富士山を見ることができる箇所は市内各地にあり、富士山を見る為に御殿場駅に人は来ないと思える。富士山が見えることによって大きな活性化には結びつかないと思う。 駅前のＳＬを圧縮空気で動かす等、動態保存を含め考えてもらいたい。	本計画において民間事業者が主体となっている事業に関しては、民間事業者側により業種構成を含め採算が合った事業が可能か検討をしたうえで、事業を実施するようになります。 御殿場駅から富士山の眺望確保については、市民向けのアンケート調査の意見等において実際に声が挙がっております。 富士山の眺望を確保することは、本市が富士山の玄関口として鉄道や高速バスを利用して来訪する人に対するおもてなしになるものと考えております。 また、駅周辺におけるにぎわい創出のため、ＳＬについても有効活用してまいりたいと考えております。 今後参考とします。